

IX 特色ある公民館活動

主体的に活動する子どもを育てる中子連の取組

中間市 子ども会育成連絡協議会 松本ヨネ子

1 事業名

主体的に活動する子どもを育てる中子連の取組

2 事業の目的

今日の青少年を取り巻く環境は、核家族化、少子化等に伴う地域連帯感の衰退といった大きな変化が生じ、大変厳しい状況にある。このような背景のもとで、子ども会活動を活性化させ、学校外活動の充実をはかり、子どもたちが自発的、主体的な活動を通じて健やかに成長できる環境づくりをする。

3 事業実施主体

中間市育成連絡協議会

4 連携・協力機関・団体等

婦人会、青年会議所、老人会他

5 事業の内容

中間市育成連絡協議会の取組として、2つの行事を紹介します。

(1) 子どもまつり

子どもまつりの企画意図は、バザーや遊びを通じて、地域の活性化と住民の連帯感を深め、親子のふれあいや青少年の健全育成を図ることが目的です。そのために、理事会や、育成指導者会議、役員会等の会議を多く設け、十分な事前準備を行なっております。会議を通じて、各校区の話し合いの場を持ち、バザーの出し物の立案をしてもらいます。その立案を基に役員会等で検討していき、バザーの出し物を決定します。

子どもたちでも子ども役員会を開き、出し物を立案してもらい、実際に企画販売をし、バザーの運営に携わってもらっています。子ども役員会を、子どもたちで自主的に活動をしてもらうため、司



会進行をジュニアリーダーを経験した子どもがし、子どもがしたいことを子ども自身で考え、実行してもらっています。

今年度の子どもまつりは、延べ250人程度集まり大人も子どもも大きな声を出し、まつりを盛り上げ大きな成果を出しました。

(2) ジュニアリーダー研修会

ジュニアリーダー研修会の企画意図は、地域にあける子ども会ジュニアリーダーに対し、日常活動上必要な知識技術の向上を図り、リーダーとしての資質や能力を養うことが目的です。

昨年度の取組は、県立社会教育総合センターに2泊3日で、クラフト・危険予知トレーニング・野外炊飯・ウォークラリー・講話等を行いました。

クラフトは、子どもたちに竹を使って、コップと箸を作ってもらいました。のこぎり、小刀、サンドペーパー等の道具を使って物を作ることで、出来上がるまでの大変さを知り、物の大切さ、又、創造力を養い、危険予知トレーニングを通じて道具の危険度を知ることができました。



危険予知トレーニングは右のイラスト等を見て、これからどう作業していくかを考えてもらいます。班からリーダーと書記を決めて、皆で危険箇所を見つけ文章にして書き出し、その中の一番危険な箇所をリーダーの合図で指差し確認して危険の認識度を高めます。また、多くの人前なので大きな声で発言をする訓練にもなります。



野外炊飯は、子どもたちで相談し合い自主的に班分けをしてもらいました。水が冷たく米洗いや野菜洗いで手を真っ赤にして頑張っていました。又、食べ終わった後の食器洗いで手を真っ赤にして頑張っていました。又、食べ終わった後の食器洗いも水が冷たくよく落ちなくて3回の洗い直しを行い、後に使用する人の事や、物を大切にすることを養いました。



ウォークラリーはみんなが見る地図の記号のような図を渡しそれに従い、チェックポイントを見



つけて、答えを書き込みながら点数を競い、コースを走破してスタート地点に帰り着くゲームです。街中に出るので班の人がリーダーを中心によく話し合い、リーダーの指示に従い、自分勝手な行動はしない。このウォークラリーは、相手を思いやる心を持ち、自分の役目を理解して、安全に行動することが培われます。

講話は、役員が子どもたちに経験談を話したりします。子どもたちにも思ったことや感想を述べてもらいます。子どもたちにも、思ったことや感想を述べてもらいます。自分の考えを整理して人前でわかりやすく話す、または意見が言えるよう努力してもらいます。



6 事業の成果

まず一つ目に、地域の中の異年齢の集団生活を通じて、思いやりや協調性が育ってきていると思います。

二つ目の成果として、子どもたちの主体的な活動を組むことによって、リーダーが育ち、創造力や、自分の考えを述べる発表力が養われてきています。

7 今後の課題

課題としては、今後、益々少子化が進むことによって、一つの子ども会では成り立たないことが多くなってきています。私たちも参加する子どもの減少に悩んでいます。しかし、横の連携によって、子ども会活動を活性化することができます。

中間市子ども会育成連絡協議会としても、横の連携を強めていくことを、今後の課題としてとらえていきたいと考えています。

問い合わせ先

〒809-0014

福岡県中間市蓮花寺3丁目1番1号

中間市中央公民館

TEL (093) 246-2321 FAX (093) 246-0277